

2021 年 5 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社 日本エスコン
代表者名 代表取締役社長 伊 藤 貴 俊
(東証1部・コード8892)
問合せ先 専務取締役 中 西 稔
電 話 03-6230-9308

植物工場の建設、運営を行う新会社「合同会社 TSUNAGU Community Farm」 設立に向けた協定書締結のお知らせ

当社は、中部電力株式会社(愛知県名古屋市、代表取締役社長 林欣吾、以下「中部電力」といいます。)および株式会社スプレッド(京都市下京区、代表取締役社長 稲田信二、以下「スプレッド」といいます。)と完全人工光型植物工場の建設、運営を行う「合同会社TSUNAGU Community Farm」(以下、「新会社」といいます。)の設立に関する出資者間協定(以下、「本協定」といいます。)を、本日締結しましたので下記の通りお知らせいたします。

記

1. 新規事業開始の背景、概要

食の「安心・安全」に対する消費者ニーズの高まりや、少子高齢化による農業従事者の減少、異常気象の頻発による不安定な食糧供給といった社会課題の解決に向け、栽培環境の管理・制御により安定的に農作物を生産できる植物工場への期待が高まっています。

本協定に基づき、3社は2021年7月を目途に新会社を設立し、2024年1月の生産開始を目指すべく、2021年10月より静岡県袋井市の事業用地(2021年3月当社取得)において、世界最大規模となる1日10トンのレタスを生産できる完全人工光型の自動化植物工場「テクノファーム袋井」の建設を開始する予定です。

中部電力が持つ資本金やエネルギーマネジメントの知見と当社の開発のノウハウを合わせることで、省エネの実現や初期コストの低減を図り、より安価な工場野菜の生産に寄与するとともに、栽培や物流についての実績を持つスプレッドと協業し、効率的かつ安定的に「安心・安全」なレタスの生産に取り組んでまいります。

当社は経営戦略の一つに、『ESGの推進』を掲げており、今般の取り組みがSDGsが示す「目標11 住み続けられるまちづくり」、「目標13 気候変動に具体的対策を」、「目標17 パートナリーシップで目標を達成しよう」の達成に寄与するものと考え、当該事業に参画いたしました。新会社を通じて、食や農業分野の課題を解決するとともに、クリーンエネルギーの積極的な利用や栽培過程におけるCO₂の有効活用など、脱炭素化に向けた取り組みを進めていくことで、持続可能で暮らしやすい社会の実現とSDGsにも貢献してまいります。

当社グループは、ハードの開発だけでなく、そこで暮らす人たちの幸せを思い描き、暮らしそのものを開発する「ライフ・デベロッパー」を目指しております。

今後も引き続きESG経営を推進し開発事業に取り組んでまいります。



2. 新会社の概要

(1)	名 称	合同会社 TSUNAGU Community Farm
(2)	設 立 日	2021 年 7 月(予定)
(3)	所 在 地	愛知県名古屋市東区東新町 1 番地
(4)	業 務 執 行 社 員	中部電力(代表社員)、日本エスコン、スプレッド
(5)	出 資 比 率	中部電力 51%、日本エスコン 48%、スプレッド 1%
(6)	事 業 内 容	完全人工光型植物工場による農産物の生産、販売事業

3. 工場概要

(1)	名 称	テクノファーム袋井
(2)	所 在 地	静岡県袋井市堀越字深田 711-1 他
(3)	工 場 タ イ プ	完全人工光型植物工場
(4)	敷 地 面 積	約 24,400 m ²
(5)	生 産 品 目	葉菜類(レタス)
(6)	生 産 能 力	10 トン/日
(7)	生 産 開 始 時 期	2024 年 1 月予定

【工場完成イメージ(外観)】



【工場内部イメージ】※写真はスプレッドの「テクノファームけいはんな」

・育苗棚



・生育室



4. 各社概要

(1)	名 称	中部電力株式会社
(2)	所 在 地	愛知県名古屋市東区東新町1番地
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 社長執行役員 林 欣吾
(4)	事 業 内 容	再生可能エネルギー事業、原子力事業、海外事業、コミュニティサポートインフラ関連事業など
(5)	設 立	1951年5月1日

(1)	名 称	株式会社スプレッド
(2)	所 在 地	京都府京都市下京区中堂寺栗田町90番地 KRP8号館
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 稲田 信二
(4)	事 業 内 容	植物工場事業の運営
(5)	設 立	2006年1月5日

5. 本件が業績に与える影響

本件が、当社グループの当連結会計年度の業績に対して与える影響は軽微であります。

以上